

事業番号	事務事業名	議会臨時管理費	所管課名	議会事務局	令和 3 年度課長名	金平 憲明	
00004	政策名	6	体系外	係名	議事係	担当者・シート作成者	金平 憲明
	施策名	61	体系外事業	根拠法令等	鏡野町議会基本条例、鏡野町議会会議規則等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・タブレット端末運用開始から3年が経過し、バッテリー充電の減りが早くなってきていることから、会議中にバッテリー切れで使用できなくなる状況を回避するため、議場内の各座席に電源コンセントを設置した。	・議会改革の一環として、経費削減、地球温暖化対策に寄与するとともに、議会会議の効率化等を図るため、平成29年度に会議用システム端末機(タブレット)を整備し、平成30年4月から本格運用を開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 議会議員	ア 議員数	人	見込 実績	14 14	14 14	15 15	14	14
イ 執行機関職員	イ 会議に出席する職員数	人	見込 実績	21 21	21 21	21 21	22	22
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 会議の円滑化	ア 提出議案数	件	目標 実績 達成率	120 117 97.5%	120 103 85.8%	120 151 125.8%	120	120
イ	イ 本会議の延べ審議時間	時間	目標 実績 達成率	48 64 133.3%	48 49 102.1%	48 59 122.9%	48	48
ウ	ウ 常任委員会の延べ審議時間	時間	目標 実績 達成率	24 29 120.8%	24 49 204.2%	24 24 100.0%	24	24

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 会議の開催	ア 本会議の開催回数	回	目標 実績 達成率	16 21 131.3%	16 22 137.5%	16 23 143.8%	16	16
イ 会議の開催	イ 常任委員会の開催回数	回	目標 実績 達成率	12 20 166.7%	12 29 241.7%	12 18 150.0%	12	12
ウ 電源コンセントの設置	ウ 電源コンセント数	個	目標 実績 達成率			50 46 92.0%	46	46

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		01 款		01 項		01 目		01 目		01 目 04 中事業 予算上の事業名					00004 事業番号	
	一般会計		議会費		議会費		議会費		議会費		議会臨時管理費					00004	
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比				
国庫支出金			0				国庫支出金										
県支出金			0				県支出金										
町債			0				町債										
その他特財			0				その他特財										
一般財源			600			600	一般財源			593			593				
合計			600			600	合計(A)			593			593				
財源名称	従事正職員人数										2			2			
	延べ業務事務時間										30			30			
	人件費計(千円)(B)										101			101			
	最終予算額		600 千円		予算執行率		98.8%		トータルコスト(A+B)				694		694		
主な支出事業内容(予算)	USB充電器ほか				99 千円				主な支出事業内容(決算)	USB充電器ほか				98 千円			
	電源増設工事費				501 千円					電源増設工事費				495 千円			

事業番号	00004	事務事業名	議会臨時管理費	所管課名	議会事務局
------	-------	-------	---------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・タブレット端末運用開始から3年以上が経過し、バッテリー充電の減りが早くなってきていることから、会議中にバッテリー切れで使用できなくなる状況が発生するようになった。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
・議員の利便性向上、執行機関・事務局職員の負担軽減を図るために、平成28年11月に「議会ペーパーレス化(ICT)事業計画書」を作成し、タブレット端末を導入した。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
・令和3年6月3日付けで、議長から「議場改修に関する要望書」を町長に提出した。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 ・長時間の会議でも、充電しながら会議が行えるようになり、円滑な議会運営が可能になる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 ・議会は、住民を代表する公選の議員で構成され、地方議会を設置することが、日本国憲法第93条で規定されている。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 ・議会の使命は、町の具体的な政策の最終決定と行財政運営の批判、監視であり、その職責を果たすことを求められている。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 ・タブレット端末を導入したことにより、議員の利便性向上、執行機関・事務局職員の負担軽減、印刷・保管の経費削減等につながっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 ・デジタル社会の実現に向け、国はデジタル庁を新たに創設し、現在、官民を挙げたデジタル改革を推進しているが、廃止・休止することで、デジタル化への取組を停滞させるおそれがある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 ・平成28年11月に作成した「議会ペーパーレス化(ICT)事業計画書」に基づき、取り組んでいる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 ・大規模災害発生時対応や新型コロナウイルス感染症対策の観点からも、一層、議会機能を強化するために、さらに多方面での活用も視野に入れた取組を推進していく必要がある。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 ・必要最低限の人員で対応している。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 ・対象は適正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																								
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	・長時間の会議でも、充電しながら会議が行えるようになり、円滑な議会運営が可能になった。 ・インターネットを活用した議会情報の公開や議会中継、議会だより「かしの木」の発行などにも取り組んだ。 ・IT機器の取扱いに不慣れな議員もいるため、紙資料との併用も必要である。 ・定期的に機器を更新する必要がある。																								
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																								
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 ・オンラインを活用した委員会の開催をはじめ、タブレット端末等を活用した議会運営、音声認識システムを利用した会議録の作成など、様々なデジタル化への取組を推進していく。 ・操作研修会等を開催しながら、知識の習熟に努める。																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
・議会運営委員会や全員協議会などで協議の上、オンラインを活用した委員会の開会に当たっての具体的な運営方法について、規則や規程、申合せ等を定めておく必要がある ・オンラインによる委員会の開会がスムーズに行えるための機器、アプリケーションの準備、セキュリティ対策などの環境整備を行う必要がある。																										